



〒660-0051 尼崎市東七松町 2 丁目 5 番 67 号 Tel (06) 6481-5351 Fax (06) 6481-5352 <http://www.ama-net.ed.jp/school/J03/index.html>

3 年生、修学旅行に行ってきました

3 年生は、5 月 1 0 日 (水) から 2 泊 3 日の行程で関東方面へ修学旅行に行ってきました。初日のディズニーランドでは、傘をさすかささないか迷うような霧雨が降っていましたが、2 日目の都内班別研修からは、すばらしい天気にも恵まれました。特に 3 日目の富士 5 合目トレッキングでは、地元の方でも驚くような雄大で美しい富士山の全景を見ることができました。おそらく、多くの子どもたちに鮮烈な印象を残したことでしょう。

さて、今回の修学旅行は、自分たちで時間を管理し、自分たちで考え行動する場面を多く設定しました。それは、そのような行動のできる生徒、集団になってもらいたいという、学校としての願いからです。いくつか反省点は残していますが、そのことを十分に学ぶことのできた修学旅行になったように感じます。

最後になりましたが、今回の修学旅行にあたり実行委員のみなさん、本当にお疲れさまでした。

本校の学力向上施策

平成 2 9 年度に実施する本校の学力向上施策 (学力向上アクションプラン) が決まりました (下図)。放課後学習や e ライブラリ等により、子どもたちが主体的に学習に取り組めるようなしくみを準備しています。

昨年度の全国学力・学習状況調査結果では、家庭学習を全くしない生徒の割合は、本校は全国平均の 2 倍でした。反面、携帯やスマートフォンを 4 時間以上している生徒の割合も、本校は全国平均の 2 倍でした。また、読書を全くしない生徒の割合は、全国平均が 3 7 % に対し、本校は 5 8 % であり、約 2 0 ポイント高い結果でした。

この結果を受け、本年度の本校の目標は、基本的な生活習慣を見直し、家庭学習の習慣化を図ることです。私たち教職員は、子どもたちの学力向上をめざして、日々研修等に励んでまいりますので、保護者の方々には、お子様の家庭学習の習慣化に向けた取組にご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

平成 29 年度 学力向上アクションプラン

B 票		中央中	学校
学力調査結果等から見た学力向上についての課題 ○ 全国調査の結果から見られる課題 (1) 各教科の状況 ・国語(知識)(活用)数学(知識)(活用)とも全国平均をやや下回っている。(改善傾向にある) (2) 質問紙調査 ・学校の授業以外の学習時間 ・家庭学習(復習)の時間	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)		本年度の具体的な目標 ○ 全国学力学習状況調査 (1) 学力調査 ・数学、国語の知識、活用とも平均正答率(全国平均に近づく) (2) 質問紙調査 ・家庭学習の習慣化を図り、学校の授業以外の勉強「まったくしない」を全国平均にまで下げる。
	授業力向上への取組 ○ 大学助教授を招聘した授業改善(授業のユニバーサルデザイン化)のための校内研修会 ○ 校内研究授業を実施し、研究協議会を実施し、授業改善をめざす。(校内研修と兼ねる)	学習習慣定着に向けた取組 ○ 個に応じた学習支援の実施(補充、発展的な学習) 2 年・3 年数学【新学習システム】による教員による少人数授業 ○ e ライブラリの活用 ○ e ライブラリで自習学習プリントを予め印刷しておき、生徒が自由に使える環境を整え、生徒の自主学習を促す。 また、放課後学習を PC 教室で行い、学習教材(e ライブラリ)の自習学習プリントを活用する。 ○ 家庭学習の成果を 1 週間週時程に「金曜チャレンジ」と称し、毎日出される宿題プリントの成果を問うテストの時間を設け、家庭学習の習慣化をめざす。	
校種間連携 ○ 夏季合同研修会の実施 ① カウンセリングマインド研修 ② 小中合同授業力向上研修 ・小中が連携した ICT を活用した授業づくり ○ 小学生のための中学校学習体験(夏季休業中に小学生が中学校の授業を体験する)を実施する。 ○ 小学生のための中学校クラブ参観週間(小学生とその保護者がクラブ参観をする。)を設ける。	活用する支援内容		家庭・地域との連携 ○ 「学校だより」や「中央中 HP」からの情報の発信 (HP は随時更新) ○ 学力調査結果の公表
	支援内容 (1) 講師招聘支援 (2) 先進校視察支援 (3) 放課後等学習支援 (4) 学力定着支援	具体的内容 ○ 授業のユニバーサル化された授業の展開 ○ 教育委員会が実施予定の先進校視察に参加 ○ 放課後学習 2h × 週 2 (月・金) × 25 週 ○ 定期テスト前集中学習 2h × 8 回 ○ 夏季休業期間 2h × 8 回 ○ 学習支援に係る用紙・インク代 ○ 教職員のライフステージに応じた研修会の実施 ○ 若手職員のための書籍の購入	